

地域振興部長 説明要旨

地域振興部長の赤坂でございます。

よろしく願いいたします。

それでは、今議会にお願いしております地域振興部関係の議案について、御説明いたします。

令和8年度予算の議案書の1ページをお開き願います。

議案第1号「令和8年度和歌山県一般会計予算」のうち、地域振興部関係は、34億219万3千円で、前年度と比較して、4億8,031万4千円の増となっております。

詳細につきましては、後ほど各課長から御説明いたしますので、主要な施策の概要について御説明申し上げます。

まず、地域づくりにつきましては、人口減少や高齢化が深刻化する中、地域の維持・活性化を図るため、住民主体の課題解決の取組を支援するとともに、空き家や廃校等の利活用による地域振興に資する拠点の形成を促進することで、個性豊かで活力ある地域づくりを推進してまいります。

また、移住・定住の推進につきましては、移住者や関係人口の拡大を図るため、情報発信や相談・受入体制の充実・強化に加え、地域外人材との交流や協働を通じて、関係人口の創出から移住・定住へと繋がる施策を一体的に進めてまいります。

次に、公共交通につきましては、地域住民の日常生活に必要な移動手段を確保するため、地域に適した公共交通体系の再構築に向けた各市町村の現状把握、課題分析を行うとともに、地域間幹線系統のバス路

線の維持や、利用者の利便性向上に取り組むバス事業者への助成を行うなど、県地域公共交通計画に位置付けた各種施策を実施し、地域公共交通の維持確保及び利便性の向上を図ってまいります。

また、物価高により大きな影響を受けている交通事業者を対象に、事業継続、活性化を目的として、運転手確保や、生産性向上等への取組を支援してまいります。

次にデジタル社会の推進につきましては、若者の学び・仕事・交流の機会を創出し、誰もが住み続けたいと感じる魅力ある和歌山の実現を目指して、eスポーツの更なる推進と、創造性豊かなゲームクリエイターが交流できるコミュニティの運営に取り組んでまいります。

また、県庁内の様々な分野において、ドローンの活用による業務の効率化を図るため、県職員を対象とした実技訓練等を実施することにより、法的知識や基礎的技能を持つ職員の養成に取り組んでまいります。

最後に、観光振興につきましては、大河ドラマ「豊臣兄弟！」の放送を契機とした誘客や、温泉と食など本県の強みを活かしたプロモーション、紀伊半島三県の連携強化や熊野白浜リゾート空港の利用促進などにより、国内外からの誘客拡大を図ってまいります。

また、DMOへの支援や観光人材の育成を通じて、地域の力を引き出しながら、魅力ある観光地域づくりを推進してまいります。

あわせて、これらの取組を効果的に推進するため、データを活用した観光統計の充実など観光情報基盤の強化に努めてまいります。

なお、令和8年度には、観光産業共創課を新設し、高級宿泊施設等の誘致をより一層進めてまいります。

私からは以上でございます。

御審議のほど、よろしく願いいたします。

地域振興課長 説明要旨

地域振興課長の宗野でございます。

地域振興課関係の案件について、概要を御説明いたします。

予算説明書「出」の11ページから14ページに記載されております当課の一般会計予算総額は、11億2,777万7千円です。

このうち主なものについて、御説明いたします。

「出」の12ページをお開き願います。

第2款「総務費」第2項「企画費」第2目「計画調査費」

「1 地域活性化支援」1億2,085万7千円は、県内で活動する地域づくり団体等の自主的、主体的な地域づくり活動を支援するとともに、地域振興に資する拠点の形成、空き家等の利活用、拠点における賑わい創出の促進に要する経費です。

「2 振興局地域づくり支援課題解決促進」1億5,187万円は、各振興局がそれぞれの地域課題解決に向けた独自の事業を実施するとともに、地域の資源や人材を活かした地域づくりの取組を行う市町村や民間団体等を支援するために要する経費です。

「6 わかやま移住定住総合戦略」1億4,040万9千円は、都市圏におけるセミナーや相談会の開催、仕事と暮らしの体験事業の実施、地域との交流促進の取組など、移住者、二地域居住者を含む関係人口など地域の新たな担い手を呼び込む施策の総合的な推進に要する経費です。

以上で、地域振興課の説明を終わらせていただきます。

総合交通政策課長 説明要旨

総合交通政策課長の石井でございます。

総合交通政策課関係の案件につきまして、概要を御説明いたします。

予算説明書の「出」の11ページと15ページに記載されております当課の一般会計予算総額は、6億6,506万3千円です。

このうち主なものについて、御説明いたします。

「出」の15ページをお開き願います。

第2款「総務費」第2項「企画費」第7目「交通対策費」

「3 地域交通確保維持改善」1億4,494万3千円は、地域において必要な広域的・幹線的なバス路線を維持・確保するため、事業者への助成を行うために要する経費です。

「4 運輸振興助成」1億3,219万5千円は、公共輸送機関の環境対策や安全対策、輸送サービスの改善等を支援するために要する経費です。

「5 和歌山電鐵貴志川線支援」1億2,219万9千円は、貴志川線の安定的かつ継続的な運行を図るため、輸送の安全確保に必要な設備を整備する費用を支援するために要する経費です。

「6 地域公共交通計画推進」4,270万6千円は、地域に適した公共交通体系の再構築に向けた各市町村の現状把握、課題分析を行うとともに、利用者の利便性向上のため、キャッシュレス決済を導入するバス事業者への助成など、県地域公共交通計画に位置付けた各種施策を実施するために要する経費です。

「7 わかやま交通事業者支援」1億3,407万2千円は、物価高により大きな影響を受けている交通事業者を対象に、事業継続、活性化を目的として、運転手確保や、生産性向上等に資するデジタル機器の導入等を支援するために要する経費です。

以上で、総合交通政策課の説明を終わらせていただきます。

デジタル社会推進課長 説明要旨

デジタル社会推進課長の宮本でございます。

デジタル社会推進課関係の案件について、概要を御説明いたします。

予算説明書「出」の11ページをお開き願います。

第2款「総務費」第2項「企画費」第1目「企画総務費」及び第2目「計画調査費」のうち、当課分は3億2,870万8千円です。

このうち主なものについて、御説明いたします。

「出」の12ページをお開き願います。

「1 情報交流センター運営管理」1億7,969万9千円は、指定管理者制度による情報交流センターの管理運営、屋根の防水塗装等の修繕、館内情報システムの運用保守等に要する経費です。

「4 eスポーツわかやま推進プロジェクト」1,200万円は、高校生によるeスポーツの取組への支援とeスポーツを普及させるためのイベント等の実施に要する経費です。

「5 和歌山デジタルクリエイティブ拠点創出」1,600万円は、創造性豊かな若者等が集い、互いに高め合う場として、ゲームクリエイターコミュニティを運営するとともに、成果発表の機会としてのコンテスト等の開催に要する経費です。

「6 県職員ドローン技術向上」599万2千円は、ドローンを活用した県庁内の業務効率化を図るための研修等の実施に要する経費です。

以上で、デジタル社会推進課の説明を終わらせていただきます。

観光振興課長 説明要旨

観光振興課長の林でございます。

観光振興課関係の案件について、概要を御説明いたします。

予算説明書「出」の84ページと90ページに記載されております当課の一般会計予算総額は、10億158万2千円です。

このうち主なものについて、御説明いたします。

「出」の90ページをお開き願います。

第7款「商工費」第3項「観光費」第1目「観光費」

2「観光客誘致対策」1億9,803万9千円は、県観光連盟、市町村及び各観光関係団体と連携し、観光客誘致を図るため、観光統計の充実や観光人材の育成等を推進するために要する経費です。

3「わかやま『観光力』推進」2億562万8千円は、本県が有する多彩な観光資源を活用し、地域一体となって魅力ある観光地づくりに取り組むとともに、戦略的な観光プロモーションを積極的に展開し誘客を促進するために要する経費です。

4「世界遺産等推進」3,264万3千円は、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全と活用の推進及び周知・啓発並びに日

本遺産を活用した情報発信等を実施するために要する経費です。

6「ジオパーク推進」6,777万2千円は、南紀熊野ジオパークセンターを拠点に保全と活用、人材の育成、市町村等との連携などの取組を推進するために要する経費です。

以上で、観光振興課の説明を終わらせていただきます。

観光交流課長 説明要旨

観光交流課長の和田でございます。

観光交流課関係の案件について、概要を御説明いたします。

予算説明書「出」の90ページに記載されております当課の一般会計予算総額は、2億7,906万3千円です。

このうち主なものについて、御説明いたします。

「出」の90ページをお開き願います。

第7款「商工費」第3項「観光費」第1目「観光費」

1「国際観光推進」1億5,559万5千円は、外国人観光客の誘致を図るため、東アジア、東南アジア及び欧米豪をターゲットにしたプロモーション活動を実施するほか、紀伊半島三県が連携して欧米豪市場の高付加価値旅行者層をターゲットとした誘客を強化するために要する経費です。

3「外国人観光客受入環境整備」1,290万円は、外国人観光客が快適で安全に県内を周遊できる環境を整備するため、県内飲食店の多言語化支援や、体験コンテンツの整備支援等を実施するために要する経費です。

5「熊野白浜リゾート空港・地域活性化」6,775万円は、熊野白浜リゾート空港を活用した地域活性化のため、国内便の利用促進や国際チャーター便の誘致を図るために要する経費です。

6「サービス産業誘致促進」2,548万4千円は、県外及び海外の企業等に対するプロモーション活動の強化等により、本県サービス産業への投資促進活動を実施するために要する経費です。

以上で、観光交流課の説明を終わらせていただきます。